
第1日 11月15日(金) 13:00~15:30

午後の部会 (13:00~15:30)

部会1 「『9条=安保体制』の再検討と東アジア」 [小ホール]

司会 井上 正也 (慶應義塾大学)

報告 濱砂 孝弘 (早稲田大学)

「九条=安保体制」への道——集团的自衛権の政治外交史 1945-1960年」

池宮城 陽子 (日本学術振興会)

「9条=安保体制」の展開と沖縄」

加藤 博章 (同志社大学)

「9条=安保体制と自衛隊海外派遣——最小限度とは何だったのか」

討論 松田 康博 (東京大学)

池田 慎太郎 (関西大学)

部会2 「アメリカ政治・外交への接近法」 [107+108]

司会 伊藤 裕子 (亜細亜大学) (討論を兼ねる)

報告 信田 智人 (国際大学)

「日米両国における日米関係研究」

佐藤 真千子 (静岡県立大学)

「宗教とアメリカ外交政策——研究動向と政策形成の文脈から」

池上 大祐 (琉球大学)

「アメリカ太平洋島嶼現代史の現状と課題——グアムを中心として」

討論 遠藤 泰生 (関西国際大学)

部会3 「ノーベル平和賞をめぐる国際政治」 [204]

司会 田中 浩一郎 (慶應義塾大学)

報告 吉武 信彦 (高崎経済大学)

「ノーベル平和賞と日本歴代——歴代日本人候補をめぐる国際政治、1901-1974年」

竹中 千春 (立教大学)

「南アジアとノーベル平和賞の政治的ダイナミクス——ポストコロニアル、グローバルサウス、ジェンダーの視点から」

榎本 珠良 (明治学院大学)

「『人道的軍縮』キャンペーンとノーベル平和賞」

討論 戸田 真紀子 (京都女子大学)

佐藤 史郎 (東京農業大学)

部会4 「国際制度と国内秩序の連関」 [201+202]

司会 石黒 馨 (神戸大学)

報告 浜中 慎太郎 (アジア経済研究所)

「国内・国際制度の連関：法伝統の視点から——ISDS、MRA、GIsは英米法的か？」

吉本 郁 (東京大学)

「民主化、不平等と援助」

市原 麻衣子 (一橋大学)
「民主主義国の国際連携——安全保障と価値の連関とその影響」
討論 竹中 治堅 (政策研究大学院大学)
神江 沙蘭 (関西大学)

分科会セッション A (15:45~17:45) 別掲

第2日 11月16日(土) 09:30~12:00 16:00~18:50 (共通論題)

午前の部会 (09:30~12:00)

部会5 「規範と紛争の複雑系」 [204]

司会 柄谷 利恵子 (関西大学)
報告 関山 健 (京都大学)
「気候変動を遠因とする紛争と社会規範」
中西 嘉宏 (京都大学)
「ヒエラルキーを転げ落ちる——国際規範とミャンマーにおける『体制移行』の関係について」
大内 勇也 (神戸大学)
「シリア内戦と反不処罰規範の多層的変容」
討論 土佐 弘之 (ノートルダム清心女子大学)
阿部 悠貴 (熊本大学)

部会6 「歴史問題とは何か——国際政治学・比較政治学・歴史学からの横断的検証」 [107+108]

司会 大矢根 聡 (同志社大学) (討論を兼ねる)
報告 浅野 豊美 (早稲田大学)
「主体の変容を前提とする国際関係学をめざして——国際和解学の挑戦」
武井 彩佳 (学習院女子大学)
「和解の規範をいかに創り出すか——法、政治と和解文化」
熊谷 奈緒子 (青山学院大学)
「和解における『女性の尊厳』——日韓慰安婦問題とボスニア・ヘルツェゴヴィナの平和構築過程の社会構成主義的分析」
討論 豊田 哲也 (国際教養大学)

部会7 「再び国家間戦争の時代へ？」 [中ホール]

司会 宮岡 勲 (慶応義塾大学)
報告 千々和 泰明 (防衛研究所)
「国家間戦争終結研究からの示唆——ロシア・ウクライナ戦争と『台湾有事』を念頭に」
佐桑 健太郎 (青山学院大学)
「領土問題の平和的解決を阻むもの」
石田 淳 (東京大学)
「安心供与とは何か——秩序論の交渉論的基盤」
討論 板山 真弓 (国士舘大学)
片桐 梓 (大阪大学)

部会 8 「『冷戦』の語り方」

[201+202]

司会 鳥瀨 優子 (同志社女子大学) (討論を兼ねる)

報告 福田 円 (法政大学)

「中国・台湾からみる『冷戦』」

山本 健 (西南学院大学)

「冷戦史研究の中の『ヨーロッパ冷戦史』」

神田 豊隆 (新潟大学)

「冷戦と社会民主主義——日本社会党の外交論を焦点として」

討論 白鳥 潤一郎 (放送大学)

部会 9 日韓合同部会 “Examining the Transformation of the International Order and Political Landscape through Diverse Approaches and Perspectives” (英語で実施) [小ホール]

Chair:

ENDO Mitsugi (JAIR President, The University of Tokyo)

Speakers:

KAGOTANI Koji (Chuo University), KO Jiyoung (Korea University)*, WU Wen-Chin (Academia Sinica)*

“When Do Diplomatic Protests Succeed? Political Information and No Rally Effect”

LEE Geunwook (Sogang University)

“ROK’ s Military Posture: Seoul’ s Strategy, Buildup, and Implications for Security in East Asia”

JEONG Sangmi (Korean National Diplomatic Academy)

“Security Threats and South Koreans’ Perception of Japan: Assessing Public Opinion on ROK-Japan Relations and the ROK-U.S.-Japan Security Cooperation (2018~2021)”

Discussant:

LIM Jaehwan (Aoyama Gakuin University)

KIM Sunil (Kyung Hee University)

CHO Youngho (Sogang University)

分科会セッション B (12:45~14:00) 別掲

分科会セッション C (14:15~15:30) 別掲

総会 (15:30~16:00)

【共通論題】 「国際政治学と政策形成——EBPM の可能性と限界」 (16:00~18:50)

[特別会議場]

司会 古城 佳子 (青山学院大学)

報告 多湖 淳 (早稲田大学)

「EBPM と国際政治学——安全保障分野」

宇治 梓紗 (京都大学)

「環境政策と EBPM」

飯田 敬輔 (東京大学)

「国際政治理論から見た EBPM」

討論 山田 敦 (一橋大学)

遠藤 乾 (東京大学)

懇親会 (19:05~20:35)

[大ホール]

第3日 11月17日(日) 14:00~16:30

分科会セッションD (09:30~11:00) 別掲
分科会セッションE (11:15~12:55) 別掲

部会10 「グローバルな食料安全保障の課題」 [107+108]

司会 毛利 勝彦 (国際基督教大学)
報告 高橋 敏哉 (松蔭大学)
「経済安全保障と食料安全保障——その概念と体系」
市川 颯 (東洋大学)
「ウクライナ戦争と食糧安全保障——ポーランドの視点から」
鍋島 孝子 (北海道大学)
「アフリカにおける食糧安全保障——国際政治から顧みられなかった農民の人権」
討論 上村 雄彦 (横浜市立大学)
渡邊 智明 (福岡工業大学)

部会11 ガザをめぐる国際政治【市民講座をかねる】 [小ホール]

司会 池田 明史 (東洋英和女学院大学)
報告 江崎 智絵 (防衛大学校)
「ガザの統治と中東和平——ハマースとの関係の観点から」
三牧 聖子 (同志社大学)
「ガザ危機とアメリカ国際主義の行方」
前川 一郎 (立命館大学)
「帝国主義忘却の現代史——ガザをめぐる国際政治があらわすもの」
討論 高原 明生 (東京女子大学)
辻田 俊哉 (大阪大学)

部会12 「非承認国家問題再論——パレスチナ、ドンバス、東ティモール」 [204]

司会 富樫 耕介 (同志社大学)
報告 錦田 愛子 (慶應義塾大学)
「実態なき承認国家としてのパレスチナ——政治戦略としての国家承認」
松里 公孝 (東京大学)
「主権国家の物心崇拝と分離紛争——旧社会主義圏の経験」
滝澤 美佐子 (桜美林大学)
「東ティモール国家独立における国際法・国際機構の関与とその課題」
討論 遠藤 貢 (東京大学)
立花 優 (北海道大学)

部会13 「不正義と補償・賠償の国際政治」 [206]

司会 藤重 博美 (青山学院大学)
報告 飯嶋 佑美 (日本国際問題研究所)
「気候変動の悪影響に伴う損失と損害を巡る国際政治」
川喜田 敦子 (東京大学)
「第二次世界大戦後のドイツの戦争賠償と被害者補償」
鶴田 綾 (中京大学)
「ヨーロッパの植民地責任とアフリカ——ベルギー・コンゴ関係を中心に」

討論 網谷 龍介 (津田塾大学)
望月 康恵 (関西学院大学)

部会 14 「対外関係の変動と日本のインテリジェンス体制」

[中ホール]

司会 岩間 陽子 (政策研究大学院大学)

報告 宮杉 浩泰 (明治大学)

「戦前期日本の情報活動と対外政策の相互作用」

小島 吉之 (帝塚山大学)

「戦後日本のインテリジェンスと国家理性」

小林 良樹 (明治大学)

「2000年代以降の日本のインテリジェンス機構の変容とその要因」

討論 森口 由香 (京都大学)

関 誠 (帝塚山大学)

部会 15 「見田宗介／真木悠介と国際政治学——日本発の〈学知〉からのグローバルな国際関係研究へ」

[207]

司会 安高 啓朗 (立命館大学)

報告 酒井 啓子 (千葉大学)

「地域研究/グローバル関係学と見田宗介/真木悠介」

前田 幸男 (創価大学)

「大地から逆照射された国際政治学——通奏低音としての見田宗介／真木悠介」

芝崎 厚士 (駒澤大学)

「自我・時空・世界 グローバル関係研究と見田宗介/真木悠介」

討論 向山 直佑 (東京大学)

浅香 幸枝 (南山大学)